



8時間労働で

秋厚労ニュース

NO1810号

2017年12月7日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

普通に暮らしたい

はたらく女性の中央集会

10月14・15日に東京で「第62回はたらく女性の中央集会」が開催されました。さまざまな職種のはたらく女性が全国からのべ850名集まり、講演会、デモ行進、分科会と充実した時間を過ごしました。



文化行事 ビオラとコントラバスの二重奏

「はたらく女性の中央集会」は1954年、ポーンで開かれた世界労連第7回総評議会で、「賃金の面でも婦人は男子よりいっそう安い賃金を押しつけられてきている。いま差し迫った問題として、同一労働・同一賃金の原則を適用させるようにするために、婦人労働者の国際会議を来年中に開こう」と提案されたことから始まりました。1956年に世界婦人労働者会議の準備活動の一環として、日本では第1回「はたらく

香山氏は「若者の貧困が増えている」「結婚できない

生きづらい社会を変えるために

今年の集会の1日目、全体会では精神科医・香山リカ氏(立教大学)が講演。文化行事ではビオラとコントラバスの二重奏。全体会終了後、銀座をデモ行進。日

思いを声にデモ行進

婦人の中央集会」が婦人連、総評婦人協会により開催されました。

人間らしく、女性らしくはたらく

い、子どもを産めない、保育園に入れない」「非正規労働者の増加・低賃金」「ワーキングプア世帯や貯蓄ゼロ世帯」が増え、深刻な問題であることを話しました。

また、「なくならない長時間労働」「女性への家事・育児・介護の負担集中」「仕事を頑張れば頑張るだけ母親失格とさえ思わざるをえない」現状にも言及。誇りをもって人間らしく、女性らしく働くには、まずは長時間労働を是正することが改善につながると呼びかけ

講演の中で集会名の「はたらく」をひらがなで記載していることに関して「ひらがなには丸みがあり、やわらかい印象になります。ひらがなを使うことで女性らしさを表しています。」と解説もありました。

全体会の最後には「8時間働けば普通に暮らせる働くルール」の確立を目指し、女性が安心して生活できる社会のために訴え続けることを確認しました。

ました。

女性ならではの工夫



銀座 デモ行進